



メリークリスマス&ハッピーニューイヤー  
WASLI ASIA ニュースレター創刊号へようこそ。  
このニュースレターでは、アジア各国の手話通訳者協会や通訳者の状況をお伝えします。第一回目は、2023年にWASLI大会が予定されている韓国からです。

## KASLI

(Korean Association of Sign Language Interpreters)

皆さん、こんにちは。

KASLI-韓国手話通訳者協会会長のアン・ソクジュンです。

WASLIアジアの仲間に韓国を紹介できることを嬉しく思います。

韓国の総人口は5,182万人で、そのうちろう者は395,789人です。

韓国には、1,865人の聞こえる手話通訳者と、784人のろう通訳者がいます。



韓国では、1997年に聞こえる手話通訳者向けの資格試験制度が開始され、2006年からは、国家資格としての試験制度に変更されました。ろう通訳者の資格試験制度は2004年に開始されました。韓国内には200以上の手話通訳センターがあります。

手話通訳コースを設置している大学は3校あります。2016年に「韓国手話言語法」が制定され、手話が公用語として認められました。1993年には3つの放送局で手話通訳付きの放送が始まり、現在は、全放送の5%程度に手話通訳が挿入されています。これらの放送では、聴通訳者が通訳を担当しています。

KASLI-韓国手話通訳者協会は2017年に設立され、会員数は269名です。聴通訳者とろう通訳者の比率は50:50です。KASLIはWASLI（世界手話通訳者協会）の国会員です。当協会では、会員の能力強化のため、放送通訳研究プログラムを実施しています。また、ろう通訳者養成講座や国際手話講座も開催しています。盲ろう者向け通訳者養成講座を開講したり、関係団体と協定書を締結しています。

また、世界各国から講師を招き、ウェビナーセッションを開催しています。これらはアジアの通訳者にも発信しています。フィリピンやネパールとも協定を交わしており、より積極的な国際交流が行われる予定です。

韓国は2023年のWASLI大会のホスト国であることを誇りに思います。

皆様のご参加をお待ちしております。



WASLI ASIA official  
Facebook

